



JENESYS2024 日本・マレーシア日本語・日本文化交流（日本人大学生等派遣）の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】日本の大学生・大学院生 8 名が「日本語・日本文化」をテーマに、2月 11 日から 18 日までマレーシアを訪問しました。現地の大学生との交流では日本の魅力に関するプレゼンテーションや日本文化の体験会を行い、マレーシアの学生からもマレーシアの文化を紹介してもらうなど、互いの友好を深めました。また、表敬や講義を通じて二国間関係を学ぶと共に、ホームビジットや文化施設訪問を通してマレーシアの歴史・文化への理解を深め、両国の友好関係の強化に取り組みました。

【参加者】日本の大学生、大学院生 合計 8 名

【訪問地】マレーシア クアラルンプール 8 名

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

- 8月 27 日（火曜日）
【オリエンテーション】全体初回オリエンテーション
【体験談】JENESYS 派遣プログラム 2023 年度参加同窓生による体験談
【講義】「ようこそ、日本アセアンセンターへ」
2024 年度全 JENESYS ASEAN 派遣プログラム合同実施
講師：東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター（国際機関日本アセアンセンター）観光交流チーム 渡邊 光生 氏
- 1月 10 日（金曜日）
【講義】派遣国理解講義
「静岡から世界へ 日本文化を輸出する新会社カルチャーリンク マレーシア」
講師：カルチャーリング マレーシア 代表取締役社長 COO 野口 亮 氏
カルチャーリング マレーシア スーパーバイザー 石川 翼 氏
カルチャーリング マレーシア：派遣プログラムの視察・交流先でもある、本格十割そば 元年堂（クアラルンプール パブリカ店）を 2024 年 9 月にマレーシアに出店。
- 2月 4 日（火曜日）
【参加者説明会】

■ 派遣プログラム：

- 2月 11 日（火曜日）
【出発前オリエンテーション】
成田国際空港より出発
クアラルンプール国際空港到着
- 2月 12 日（水曜日）
【表敬訪問】在マレーシア日本国大使館
広報文化部長 一等書記官 斎藤 幸義 氏、
二等書記官 松尾 圭悟 氏
【講義】独立行政法人国際協力機構（JICA）マレーシア事務所
「JICA マレーシア事務所 事業概要」
講師：JICA マレーシア事務所 次長 稲垣 良隆 氏、有原 美智子 氏

	<p>【講義・視察】国立大学法人筑波大学 マレーシア校 「筑波大学マレーシア校の概要」</p> <p>講師：国立大学法人筑波大学 学際サイエンス・デザイン専門学群 マレーシア校 学群長理学博士 辻村 真貴 氏</p>
2月13日（木曜日）	<p>【学校交流】テナガナショナル大学（UNITEN）</p> <p>【視察】マレーシア青年スポーツ省（Kementerian Belia dan Sukan (KBS)） 管轄の機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペルバダナン スタジアム マレーシア (PSM) (マレーシアのスポーツ施設や複合施設の管理と運営を行っている) ・インスティテュート スカン ヌガラ (ISN) (マレーシアのスポーツ科学とスポーツ医学の発展促進を目的に設立された) ・マジリス スカン ヌガラ マレーシア(MSN) (マレーシア全州におけるスポーツの管理と発展を担っている)
2月14日（金曜日）	<p>【学校交流】スルタン イドリス 教育大学 (UPSI)</p> <p>【ホームビジット】スンガイ スッキヤ村</p> <p>【ホストファミリー歓送会】</p>
2月15日（土曜日）	<p>【視察】国立博物館、国立モスク、独立広場、セントラルマーケット、王宮、 プトラモスク、ペトロナスツインタワー（超高層ビル）</p>
2月16日（日曜日）	<p>【視察】ロイヤルセランゴルビジターセンター（伝統工芸錫製品工場）</p> <p>【視察・交流】本格十割そば 元年堂（クアラルンプール パブリカ店） カルチャーリンク マレーシア スーパーバイザー 石川 翼 氏</p> <p>【ワークショップ】報告会準備（渡航成果のとりまとめ、帰国後の活動計画 (アクション・プラン) の作成）</p>
2月17日（月曜日）	<p>【視察】バトゥ洞窟</p> <p>【報告会】渡航成果・帰国後の活動計画発表 クアラルンプール国際空港より出発</p>
2月18日（火曜日）	成田国際空港到着

2. 記録写真

プレプログラム（オンライン事前学習）

<p>◆ ASEAN加盟の歴史</p> <p>ASEANについて知ろう！</p> <p>日系企業：14,500社以上</p>	
<p>2024年8月27日【講義】 「ようこそ、日本アセアンセンターへ」</p>	<p>2024年8月27日【講義】集合写真</p>

 	
<p>2025年1月10日【講義】派遣国理解講義</p>	<p>2025年1月10日【講義】派遣国理解講義</p>
	
<p>2025年2月4日【参加者説明会】</p>	<p>2025年2月4日【参加者説明会】</p>

派遣プログラム

	
<p>2025年2月11日【出発前オリエンテーション】</p>	<p>2025年2月12日【表敬訪問】在マレーシア日本国大使館</p>
	
<p>2025年2月12日【講義】 「JICA マレーシア事務所 事業概要」</p>	<p>2025年2月12日【講義・視察】 国立大学法人筑波大学 マレーシア校</p>

	
<p>2025年2月13日【学校交流】 テナガナショナル大学 (UNITEN)</p>	<p>2025年2月13日【学校交流】 テナガナショナル大学 (UNITEN)</p>
	
<p>2025年2月13日【視察】 ペルバダナン スタジアム マレーシア (PSM)</p>	<p>2025年2月13日【視察】 インスティテュート スカン ヌガラ (ISN)</p>
	
<p>2025年2月13日【視察】 マジリス スカン ヌガラ マレーシア (MSN)</p>	<p>2025年2月14日【学校交流】 スルタンイドリス教育大学 (UPSI)</p>
	
<p>2025年2月14日【学校交流】 スルタンイドリス教育大学 (UPSI)</p>	<p>2025年2月14日【ホームビジット】 スンガイ スッキヤ村</p>

	
2025年2月14日【ホストファミリー歓送会】 スンガイ スッキヤ村	2025年2月15日【視察】 マレーシア国立博物館
	
2025年2月15日【視察】国立モスク	2025年2月15日【視察】独立広場
	
2025年2月15日【視察】セントラルマーケット	2025年2月15日【視察】プトラモスク
	
2025年2月16日【視察】 ロイヤルスランゴールビジターセンター	2025年2月16日【視察・交流】本格十割そば 元年堂（クアラルンプール パブリカ店）

	
2025年2月16日【ワークショップ】	2025年2月17日【視察】バトゥ洞窟
	
2025年2月17日【報告会】	2025年2月17日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

プレプログラム（オンライン事前学習）

◆ 大学生（プレプログラム1回目：2024/8/27）

日本アセアンセンターの講義を拝聴出来たことがとても貴重な機会でした。

また、派遣メンバーは、都市環境、国際交流、日本語教育など学んでいる分野の幅が広く、それぞれの化学反応がとても楽しみです。分野が幅広いからこそ、このプログラムを経て何を達成したいのか、最終的なゴールや目的を明確にすることが必要であると考えました。

◆ 大学生（プレプログラム2回目：2025/1/10）

マレーシアに実際に住んでいる方のお話を聞いて、沢山の新しいことを学びました。気候や言語のことなど大変勉強になりました。特にマレーシアの宗教については、直接会話する際に気を付けなければならないポイントもあるので、事前に詳しく学ぶことができて良かったです。今後自分たちがどのように日本の魅力を紹介するべきかという、ヒントになりそうな内容もあったので、この講義を生かしていきたいです。そしてマレーシアの人は新しいものや、Instagramでの情報収集が盛んだということを知ったので、Instagramでの発信を積極的にしていきたいと思いました。

◆ 大学生（プレプログラム3回目：2025/2/4）

今回のプレプログラムでは、実際に訪問する場所や日程の詳細、交流内容の具体的な説明などありました。初めは1週間の訪問は短いと感じていましたが、内容が盛り沢山で、政治的方面だけではなく、学校交流を通して教育に関して知ることができたり、また、スポーツ庁からスポーツについても学べるということで、あらゆる視点から日本とマレーシアの関係について考える良い機会になるのでは、とますます訪問が楽しみになりました。さらに、帰国後の具体的なアクション・プランも渡航中に考えなければならぬいため、これからもっと情報発信を頑張っていきたいです。

派遣プログラム

◆ 大学生

異なる文化、言語背景を持つ方々と交流をする時、どうしても身構えてしまうところが多々あります、結局は「人対人」だからこそ相手のことをよく理解しよう、仲を深めようという気持ちで接していくことが何より重要なことであるし、そうすればそのような文化の障壁も乗り越えていけると感じました。マレーシアの方々は多民族国家ということもあり、私たちのような外国人に対してもとても柔軟な対応で、むしろ初対面の日本人同士より安心感を得られる場面が多くありました。積極的に名前を呼んでくれること、一つ一つ丁寧に説明してくれること、日本語を話す努力をしてくれること、どれも私たちや日本のことさらには知ろうという思いで接してくれることが、とても嬉しかったです。

◆ 大学生

元年堂さんの「日本の文化を海外に伝え、（元年堂の店舗がある）三島に海外の人を呼び込むことが最終目標」という言葉が印象的でした。ビジネスモデルも全て合理的で将来起業にも興味があるため非常に参考になりました。また、スタッフとの連携や新商品のトライアルの仕方なども相互的な利益があり、感銘を受けました。おそらく人生で一番美味しかったです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 交流校学生

ナシレマ（マレーシアの伝統料理。ココナッツミルクで炊いたご飯）の調理体験は特に交流が深まり、交換学生全員がマレーシアの国民食を学ぶ貴重な機会でした。

◆ 交流校学生

交流はとても魅力的でした。人種や社会的な違いに関係なく、相手を理解しようとして、しっかりと会話を重ねながら強い絆を築こうとしていました。日本の学生さんはとても観察力があり、両国の共通する伝統や文化のつながりを見つけ出しているようでした。例えば、マレーシアの伝統的な遊び「バトゥ・スレンバン」と、日本の「お手玉」が似ていることに気がついていました。両国の伝統を教える今回の活動は、マレーシアの文化を学ぶだけでなく、自国である日本についても理解を深める機会になったのではないかと思います。

「海外の人も自分の国の伝統を楽しんでくれるのなら、自分の国の文化の魅力をもっと知りたい」と思うようになれば、そこから探究心が広がっていくのではないでしょうか。伝統は、私たちのアイデンティティの一部であり、自分たちのルーツを知る大切な手がかりになります。今回の交流を通じて、どの国の伝統にも独自の魅力と特別な価値があるのだと改めて感じました。

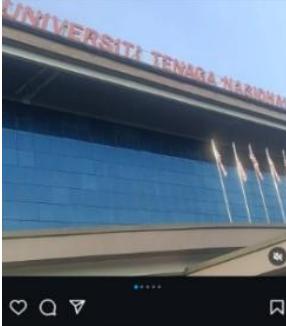
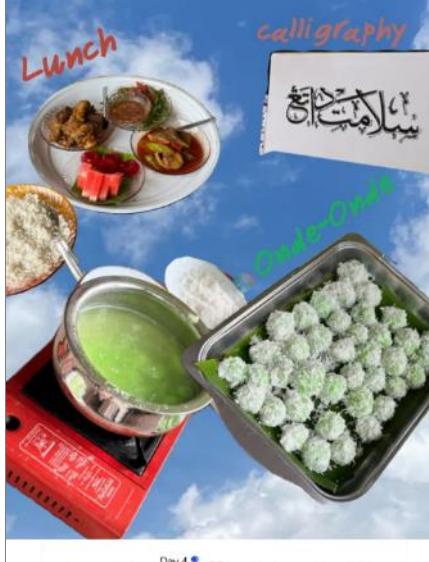
個人的には、イベント中にペアになった相手がとても好奇心旺盛だったのが印象に残っています。私たちは興味の方向性こそ違っていましたが、彼女はその違いを受け入れ、理解しようしてくれました。彼女はとても親切で、日本から持参したお土産をプレゼントしてくれました。本当に感謝しています。

5. 参加者の对外発信（抜粋）、報道記事等

プレプログラム（オンライン事前学習）

	
2025年1月17日 (Instagram) <p>(カルチャーリンクさんの講義に出てきた) 元年堂さんからたくさんのこと学びました。マレーシアに行くのが楽しみです。</p>	2025年2月5日 (Instagram) <p>プログラムを通じて、私も発信していきたいことを色々考えました。 日本には壮大な自然や美しい文化、伝統的な食など様々な魅力があります。そうした魅力を発信していくことは非常に重要なことであり、日本人として誇りに思います。 しかし、その一方で来日して日本で生活している方々の中には様々な苦労をしている人もいます。私は外国人児童生徒に日本語を教える活動をしていますが、色々な葛藤を感じることもあります。日本で暮らす全ての人々にとって居心地のよい「多文化共生」とは何かを考えるきっかけとして、ここで発信していきたいと思います。</p>

派遣プログラム

 <p>Hari ini saya ke UNITEN dan KBS! Di UNITEN, saya dapat mengadakan pertukaran budaya secara langsung dengan pelajar, yang meninggalkan pengalaman yang sangat tidak dapat saya lupakan. Di KBS, kami dapat melihat pelbagai teknologi sukan yang dibangunkan di Malaysia dan menarik untuk membandingkannya dengan Jepun.</p> <p>今日はUNITENとKBSに行ってきました! UNITENでは学生と直接文化交流をすることができます大変思い出に残りました。 KBSでは様々な発展したマレーシアのスポーツ技術を視察し、日本との比較ができる興味深かったです。</p>	 <p>今日はUPSIに行ってきました 書道を体験したり、伝統的な食べ物を食べたりするのは楽しかったです。 スッキヤ村ではホストファミリーと一緒に滞在しました。</p>
<p>2025年2月13日 (Instagram)</p> <p>今日はUNITENとKBSが管轄している機関に行ってきました。UNITENでは学生と直接文化交流をすることができます大変思い出に残りました。KBSでは様々な発展したマレーシアのスポーツ技術を視察し、日本との比較ができる興味深かったです。</p>	<p>2025年2月15日 (Instagram)</p> <p>今日はUPSIに行ってきました 書道を体験したり、伝統的な食べ物を食べたりするのは楽しかったです。 スッキヤ村ではホストファミリーと一緒に滞在しました。</p>
 <p>Lunch calligraphy Gado-Gado</p> <p>Day 4 The people of Malaysia take great pride in their culture, which I find truly wonderful. It also made me realize the importance of deepening my understanding of my own country.</p>	 <p>元年堂 Gannendo It was the best soba and tempura I have ever eaten. It was the best soba and tempura I have ever had. There was a display of Japanese Kyoto Nishijin textiles.</p>
<p>2025年2月16日 (Instagram)</p> <p>マレーシアの人々は自分たちの文化に大きな誇りを持っており、それは本当にすばらしいことだと思います。自分の国に対する理解を深めることの大切さを実感しました。</p>	<p>2025年2月14日 (Instagram)</p> <p>元年堂さんのそばと天ぷらは、今まで食べた中で一番おいしかったです。京都西陣織も展示されていました。</p>

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Universiti Tenaga Nasional - UNITEN 2月14日 1:52</p> <p>JENESYS 2025 Where Cultures Collide & Connections Thrive</p> <p>13 Feb - Universiti Tenaga Nasional (UNITEN) proudly welcomes our esteemed guests from Japan for the JENESYS 2025 Programme, a collaboration between Kementerian Belia & Sukan (KBS) Malaysia and the Japanese International Cooperation Center (JICA).</p> <p>During the opening ceremony this morning, Professor Ir. Dr. Kharul Salleh Mohamed Sahari, Vice-Chancellor of UNITEN, emphasized that the programme serves as a platform for fostering mutual understanding, where education and cultural diversity unite to shape a brighter future for all.</p> <p>"I am confident that through this programme, our Japanese friends will not only experience the academic environment at UNITEN but also gain insights into the rich cultural and social diversity that Malaysia offers," he said.</p> <p>Participants will immerse themselves in Malaysia's rich traditions and experience UNITEN's world-class academic environment. This programme promises to be a transformative journey, fostering new knowledge, unforgettable experiences, and lifelong connections.</p> <p>発表、本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。改めまして、心よりお申しあげます。日本のこの貴重な機会が、皆様の成長を後押しし、ここで築かれるご縁が、無限の可能性に満ちた未来へとつながることを願っております。- Prof. Kharul Salleh</p> <p>Welcome to UNITEN! We hope you have an enriching and memorable experience. #JICA #UNITEN #UNITENvibes #UNITENtribe #EnlighteningTheFutureTogether</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>JICA Malaysia Office (JICAマレーシア事務所) 2月14日 18:39</p> <p>月12日(水)外務省が推進する対日理解促進プログラム「JENESYS2024」で日本の大学・大学院生8名がJICA事務所を訪問しました。</p> <p>JICA事務所からは稲垣次長がJICAマレーシア事務所の事業概要を説明しました。</p> <p>事業概要説明の後には、マレーシアで展開中のJICAプロジェクトに関する質問から高所得国入り目前のマレーシアに対してJICAとしてどのような領域に支援をしていくのか、JICA海外協力隊員のマレーシアでの経験についてなど多岐にわたる質問がされました。</p> <p>今回のプログラムでの滞在は18日までですが、限られた時間の中で学生の皆さんがマレーシアの人や歴史、文化などに触れられ、日本を客観的に見ながら魅力を発信し、両国の友好関係に寄与されることを期待しております。</p> </div>
<p>2025年2月14日（テナガナショナル大学のFacebook）</p> <p>2月13日 - テナガナショナル大学（UNITEN）は、マレーシア青年スポーツ省（KBS）マレーシアとのコラボレーションによる JENESYS 2024 プログラムで、日本からのゲストをお迎えしました。今朝の開会式で、UNITEN 副学長のカイルル・サレー・モハメド・サハリ教授は、このプログラムは相互理解を育むプラットフォームとして機能し、教育と文化的多様性が一体となって、すべての人にとってより明るい未来を形作るものであると強調しました。</p> <p>「このプログラムを通じて、日本の友人たちちは UNITEN のアカデミックな環境を体験するだけでなく、マレーシアの豊かな文化的・社会的多様性についても見識を深めてくれることを確信しています」と語りました。このプログラムは、新しい知識、忘れられない経験、そして生涯にわたるつながりを育む変革の旅となるでしょう。（後略）</p>	<p>2025年2月14日（JICA マレーシア事務所のFacebook）</p> <p>2月12日（水）外務省が推進する対日理解促進プログラム「JENESYS2024」で日本の大学・大学院生8名がJICA事務所を訪問しました。</p> <p>JICA事務所からは、稲垣次長がJICAマレーシア事務所の事業概要を説明しました。</p> <p>事業概要説明の後には、マレーシアで展開中のJICAプロジェクトに関する質問から高所得国入り目前のマレーシアに対してJICAとしてどのような領域に支援をしていくのか、JICA海外協力隊員のマレーシアでの経験についてなど多岐にわたる質問がされました。</p> <p>今回のプログラムでの滞在は18日までですが、限られた時間の中で学生の皆さんがマレーシアの人や歴史、文化などに触れられ、日本を客観的に見ながら魅力を発信し、両国の友好関係に寄与されることを期待しております。</p>

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

全1グループが発表

Action Plan

JENESYS2024 Malaysia

What we realized

02. Malaysians are ready for accepting other cultures



- Multi-cultural
- Multi-ethnic
- Multi-language

【What we do】

Hold events to give children an international perspective and awareness.



【成果の発表】

プログラムでの学び（日本・マレーシアの魅力や気づき）

- ① いかにマレーシアについて無知であったか
(イスラム教にとってのお祈りの大切さ、モスクでのポージングの決まり)
- ② マレーシアの多文化多民族、他人を受け入れる環境ができていること
- ③ ハラル認証とムスリムフレンドリーについての学び
日本におけるハラル・ムスリムフレンドリー提供や、祈禱室が不足している実情
- ④ 海外に出て感じた日本建築物の美しさ
- ⑤ 海外に出て感じた日本のおもてなしのすばらしさ
- ⑥ マレーシア学生の反応の良さに感銘し、その大切さを感じた

【アクション・プラン】

● 全員で実施するアクション・プラン

2025年3月中旬に、参加者8名全員で、子どもたちへ国際的な視点と気づきを与えるイベントを開催します。対面イベントですが、オンラインでもつなぎハイブリッドで実施します。

開催の理由及び目的は、日本に住む人々へ多文化社会への理解を深める機会を設けるためです。

具体的な内容は、JENESYSプログラムの経験や気づきの紹介、マレーシアの伝統ゲームの他、ジェスチャーゲーム、クイズなどを行います。

● 個別で実施するアクション・プラン

- ・地元メディアに自分の気づきを紹介してもらい、多くの人に多文化を紹介する。(1名)
- ・SNS発信を通して日本とマレーシアについての発信を行う。(複数名)
- ・将来マレーシア留学等をする(1名)

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）